

BEMS対応
モジュール登録ツール
取扱説明書
WRS-BAMT-00
V1.00

watanabe
渡辺電機工業株式会社

はじめに

このたびは本ソフトウェアをお買い求めいただき誠にありがとうございます。

本取扱説明書は、本ソフトウェアを使用していただくためのサーバーの環境、インストールする手順、および操作方法を記述したものです。

本ソフトウェアを正しく永くご使用いただくために、ご使用前に必ずお読みください。

※ 本取扱説明書をご覧の前に「はじめにお読みください」をお読みください。

注意

本ソフトウェアをお使いいただくには、本ソフトウェアのインストールCDからBEMS対応データベース管理ツールおよび、データベース(SQL Server Express)のインストールが必要です。

製品の確認

1) 次の梱包内容がお手元に揃っているか確認してください。また、CD-ROMは大切に保管してください。

表 梱包内容一覧

BEMS対応モジュール登録ツール(WRS-BAMT-00) CD-ROM	1枚
はじめにお読みください	1枚

2) CD-ROM内には以下のソフトウェアと取扱説明書/手順書があります。

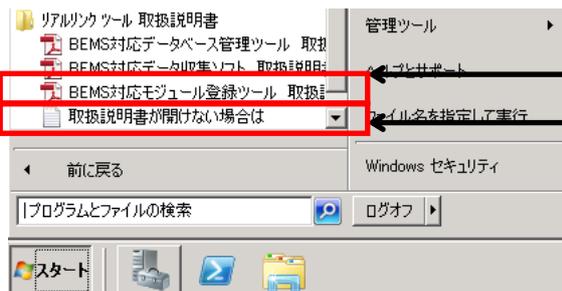
表 BEMS対応モジュール登録ツール CD-ROM内容

ルートフォルダ	CD内フォルダ	分類	内容
WRS-BAMT-00 CD-ROM	BAMT	ソフトウェア	BEMS対応モジュール登録ツール(インストーラ)
	取扱説明書	取扱説明書	BEMS対応モジュール登録ツール取扱説明書
			はじめにお読みください
			取扱説明書が開けない場合は(txt)

取扱説明書について

本取扱説明書は、本ソフトウェアのインストール時にサーバー内に自動的に保存されます。

- ① [スタート]をクリックし、[すべてのプログラム]を選択後、[リアルリンクツール 取扱説明書]を選択します。
- ② [BEMS対応モジュール登録ツール 取扱説明書]をクリックすると、本取扱説明書が表示されます。



本取扱説明書が表示されます

取扱説明書が表示されない場合は
こちらをお読みください

目次

はじめに.....	2
製品の確認.....	2
取扱説明書について.....	2
1. 特徴.....	4
1-1. 機能概要.....	4
1-2. 接続形態.....	5
2. 導入手順.....	6
3. 保証.....	7
3-1. 保証期間.....	7
3-2. 保証範囲.....	7
3-3. 責任の制限.....	7
4. 動作環境.....	8
4-1. 動作環境.....	8
4-2. 関連ソフトウェア.....	8
4-3. 対応機器一覧.....	8
5. インストール／アンインストール手順.....	9
5-1. インストール手順.....	9
5-1-1. インストール時のエラーメッセージ.....	11
5-2. アンインストール手順.....	12
6. 起動と終了.....	14
6-1. ソフトウェアの起動.....	14
6-2. ソフトウェアの終了.....	15
6-3. ソフトウェアバージョンの確認.....	15
7. 操作方法.....	16
7-1. WTM-DMD6Vの登録/変更/削除.....	16
7-1-1. WTM-DMD6V の設定ファイル編集.....	16
7-1-2. 登録情報の更新 (WTM-DMD6V のオフライン登録).....	21
7-2. 登録モジュールリストの表示.....	26
8. 表示メッセージ.....	27

- ・ 本ソフトウェアおよび本取扱説明書の内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。
- ・ お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。

- ・ Core 2 Duoは米国Intel社の登録商標です。
- ・ Microsoft および、Windows Server 2008 R2、SQL Server 2005 Express、米国Microsoft社の登録商標です。

1. 特徴

1-1. 機能概要

(1) WTM-DMD6Vの登録/変更/削除

① WTM-DMD6Vの設定ファイル編集

登録情報更新の事前準備として、WTM-DMD6Vの設定ファイルをエクスプローラ上で登録/変更/削除します。

② 登録情報更新(WTM-DMD6Vのオフライン登録)

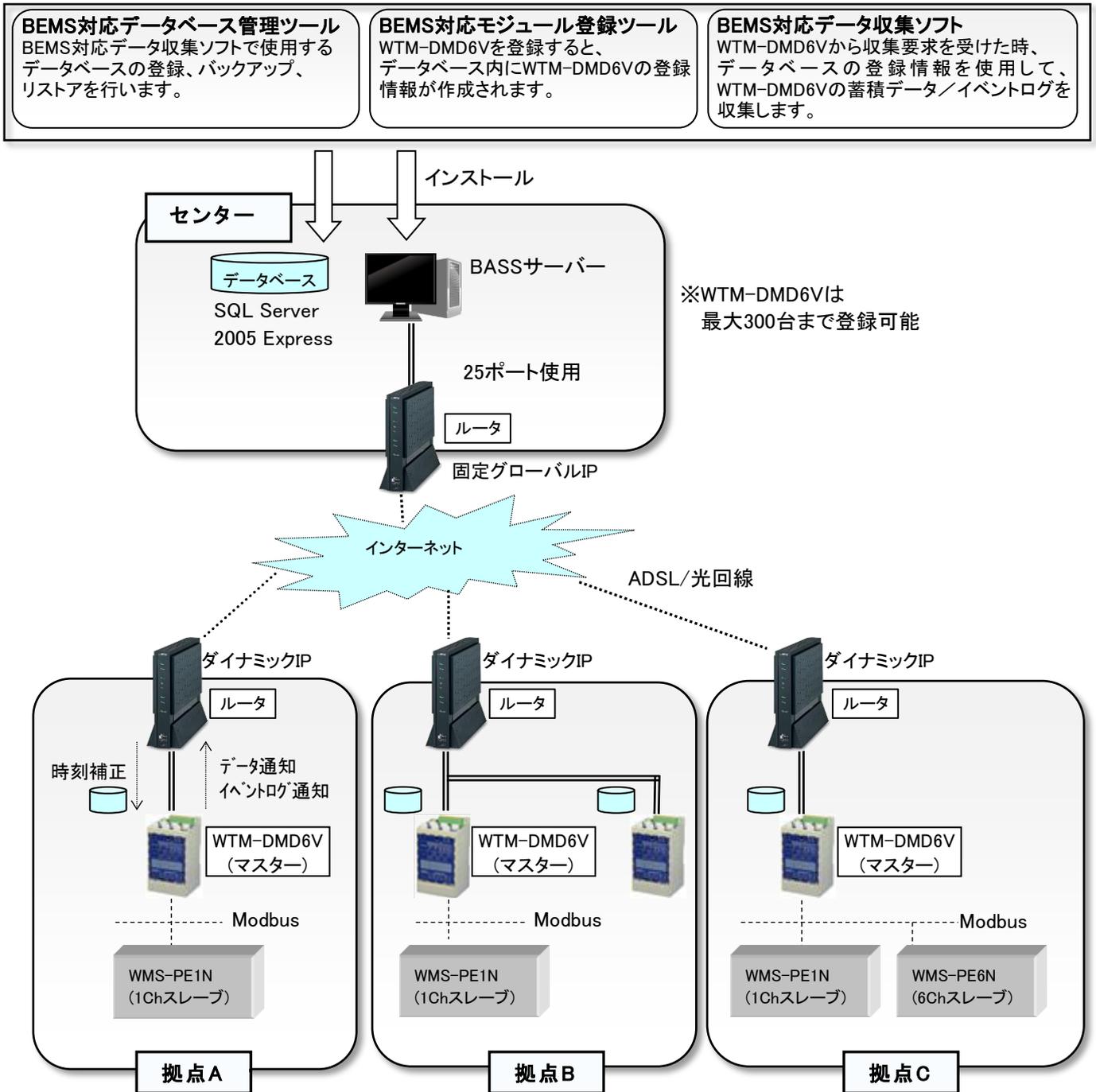
編集したWTM-DMD6Vの設定ファイルを読み込み、WTM-DMD6Vと通信せずに登録情報を更新します。

※ 本ソフトウェアで登録できるWTM-DMD6Vの台数は最大300台になります。

(2) 登録モジュールリスト表示

本ソフトウェアで登録した WTM-DMD6V の登録情報をリスト表示します。

1-2. 接続形態



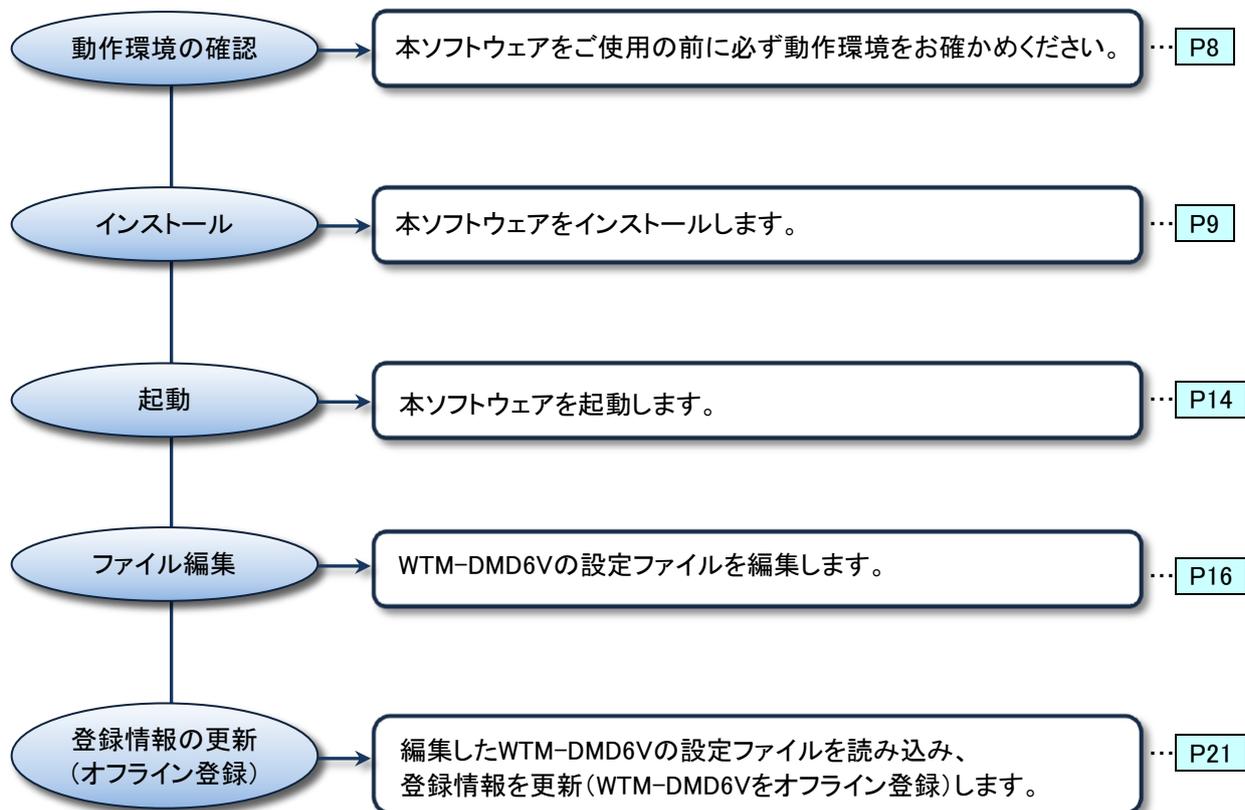
※ センター側、拠点側の構築については「はじめにお読みください」を参照してください。

2. 導入手順

本ソフトウェアを使用するための手順を確認してください。

※ 事前にBEMS対応データベース管理ツールの設定を行ってください。

本ソフトウェア以外のセットアップ手順については「はじめにお読みください」を参照してください。



※ ページナンバーをクリックするとそのページにジャンプします。

3. 保証

3-1. 保証期間

本ソフトウェアの保証期間は納入後1年間といたします。

3-2. 保証範囲

保証期間内に当社側の責により不具合が生じた場合は、代替品の提供を無償で実施させていただきます。ただし、不具合の原因が次に該当する場合はこの保証の対象範囲から除外いたします。

- 1) 本書に記載されている条件、環境、取扱いの範囲を逸脱してご使用された場合
- 2) 当社以外による構造、性能、仕様などの改変による場合
- 3) 本ソフトウェア以外の原因による場合(サーバー故障など)
- 4) その他、天災、災害、不可抗力など当社側の責ではない原因による場合

なお、ここでいう保証は本ソフトウェア単体の保証に限るもので、本ソフトウェアの不具合や瑕疵から誘発される損害は保証の対象から除かれるものとします。

3-3. 責任の制限

本ソフトウェアに起因して生じた損害に関しては、当社はいかなる場合も責任を負いません。

4. 動作環境

4-1. 動作環境

本ソフトウェアの動作環境は以下のようになっています。

※以降、以下の要件を満たすサーバーをBASSサーバーと記述します。

表 4.1 動作環境一覧

項 目	要 件
OS	Windows Server 2008 R2 Standard SP1
CPU	インテル® Core™2 Duo プロセッサ 1.8GHz以上
メモリ容量	2GByte以上推奨
ディスク容量	80GByte以上の空き
CDドライブ	必須
ディスプレイ	XGA1024×768以上
マウス	必須

4-2. 関連ソフトウェア

本ソフトウェアと連携するソフトウェアは以下のとおりです。

表 4.2 関連ソフトウェア一覧

品 名	型 式	バージョン
BEMS対応データ収集ソフト	WRS-BASS-00	V1.00以降
BEMS対応データベース管理ツール	-	V1.00以降

4-3. 対応機器一覧

本ソフトウェアは以下の機器に対応しています。

表 4.3 対応機器一覧

品 名	型 式
BEMS対応デマンドコントローラ	WTM-DMD6V-00A□00

※以降、BEMS対応デマンドコントローラ(WTM-DMD6V-00A□00)をWTM-DMD6Vと記述します。

本ソフトウェアで登録できるモジュール台数は以下のようになります。

・WTM-DMD6V : 最大300台

5. インストール／アンインストール手順

5-1. インストール手順

本ソフトウェアをBASSサーバーにインストールします。

⚠注意

- 1) 本ソフトウェアは「Administrator」のユーザー名でログオンしてインストールしてください。
- 2) 本ソフトウェアをお使いいただくには、BEMS対応データ収集ソフトのインストールCDからBEMS対応データベース管理ツールおよび、データベース(SQL Server Express)のインストールが必要です。

① インストーラの起動

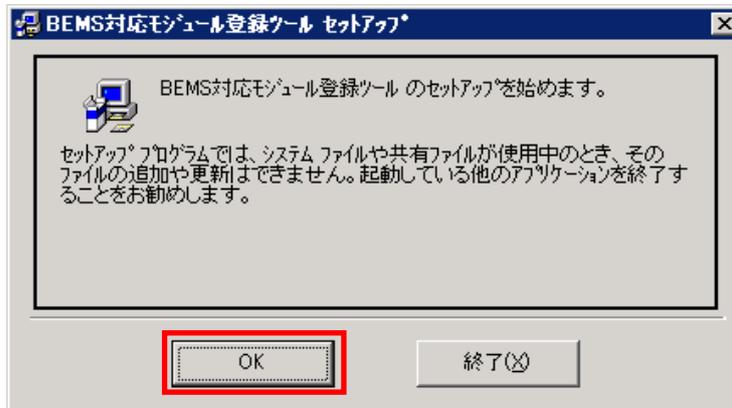
本ソフトウェアのCD-ROM内の以下のファイルをダブルクリックしてください。
本ソフトウェアのインストーラが起動します。

X:¥BAMT¥Setup. exe

↑ _____ インストールCDが入っているドライブ名

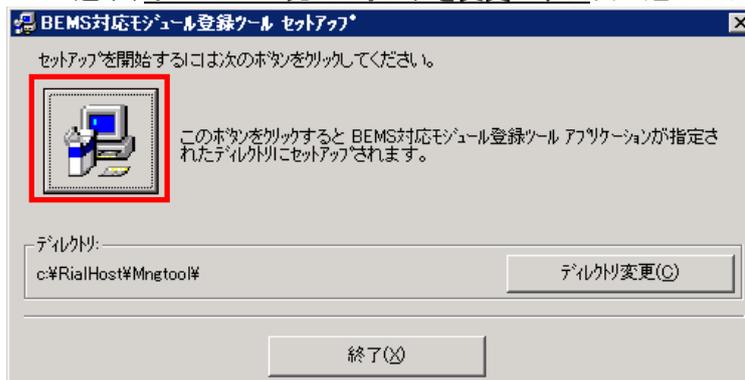
※「.exe」が表示されていない場合は、ファイルの種類が「アプリケーション」となっているファイルをダブルクリックしてください。

② 以下の画面を表示されるので[OK]ボタンをクリックします。

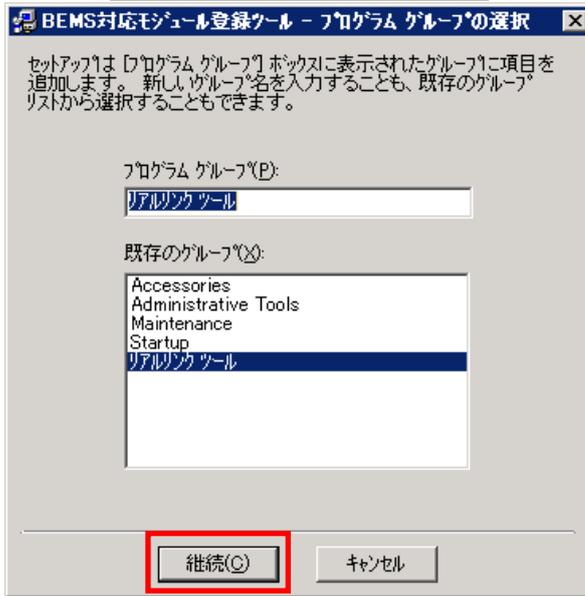


③ インストール先のフォルダを確認後、セットアップを開始するボタンをクリックします。

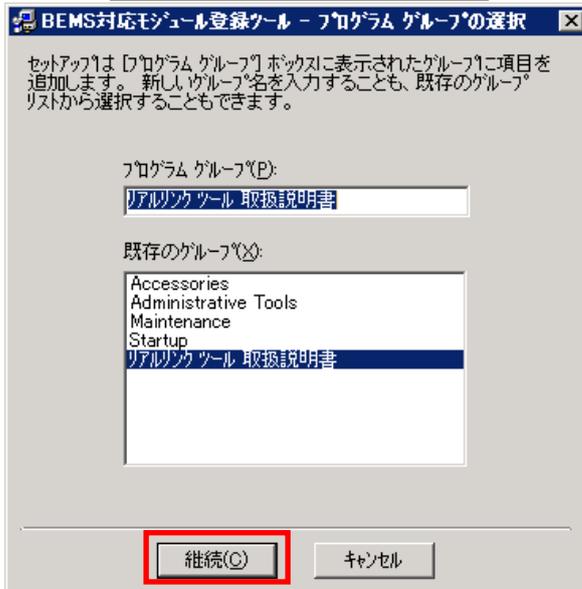
※ 通常、インストール先のフォルダを変更せずに次へ進んでください。



- ④ 以下の画面が表示されるので、確認後[継続]ボタンをクリックします。
※通常、プログラムグループを変更せずに次へ進んでください。



- ⑤ 以下の画面が表示されるので、確認後[継続]ボタンをクリックします。
※通常、プログラムグループを変更せずに次へ進んでください。

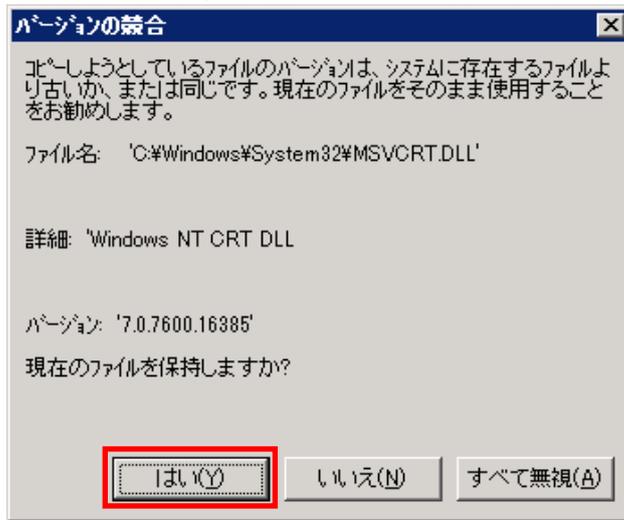


- ⑥ 本ソフトウェアのインストールが始まります。

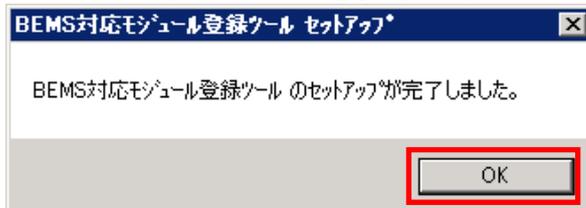


※途中で以下の画面が表示された場合、[はい]ボタンをクリックします。

その他のエラーに関しては「5-1-1. インストール時のエラーメッセージ」を参照してください。



- ⑦ 以下の画面が表示されるので[OK]ボタンをクリックしてください。
本ソフトウェアのインストールが完了しました。Windowsを再起動してください。



5-1-1. インストール時のエラーメッセージ

インストールをしている途中、エラーメッセージが表示される場合があります。
インストールを正常に終わらせるために、以下の正しい対応をしてください。

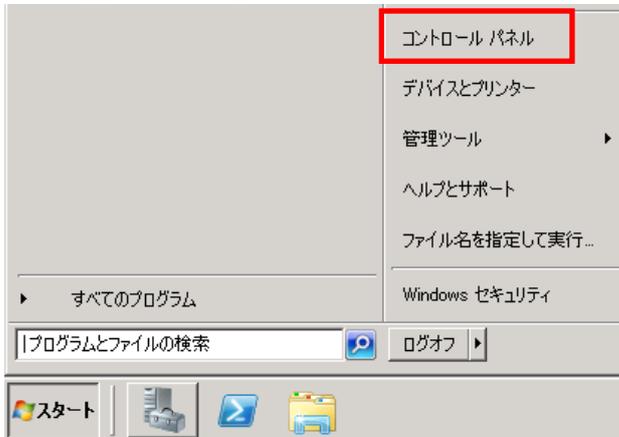
表 5.1 インストール時のエラーメッセージ対応表

表示メッセージ	対応
システムにある一部のシステムファイルが最新でないので、セットアップを続行できません。 セットアップでこれらを更新してよいのなら『OK』をクリックして下さい。 もう一度セットアップを実行する前にWindowsを再起動する必要があります。 システムファイルを更新しないでセットアップを終了する場合は、 『キャンセル』をクリックしてください。	① [OK]ボタンをクリック後、 Windowsを再起動します。 ② もう一度セットアップを実行 します。
コピーしようとしているファイルより新しいファイルがシステムに存在します。 現在のファイルをそのまま使用することをお勧めいたします。	[はい]ボタンをクリックしてくだ さい。
セットアップ先のファイルは、他のアプリケーションで使われています。 使用中のアプリケーションを終了させてください。	[無視]ボタンをクリックしてくだ さい。
セットアップ先のファイルは、他のアプリケーションで使われています。 使用中のアプリケーションを終了させてください。 ファイルのコピーエラーを無視すると、そのファイルは組み込まれません。 この場合、アプリケーションが正しく動作しない可能性があります。 エラーを無視しますか？	[はい]ボタンをクリックしてくだ さい。
既に組み込まれています。既存のものを置き換えますか？	[はい]ボタンをクリックしてくだ さい。
ファイルのコピーにエラーが発生しました。	[無視]ボタンをクリックしてくだ さい。

5-2. アンインストール手順

本ソフトウェアをBASSサーバーからアンインストールします。

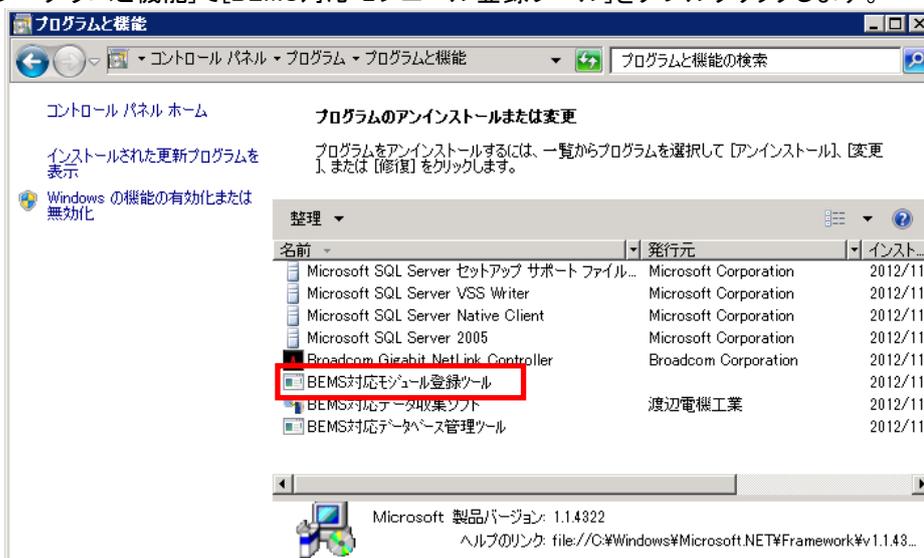
- ① [スタート]をクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。



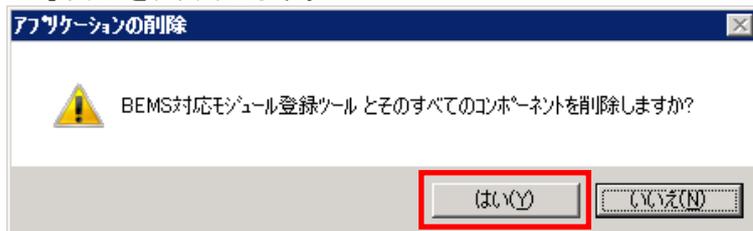
- ② [プログラムのアンインストール]をクリックします。



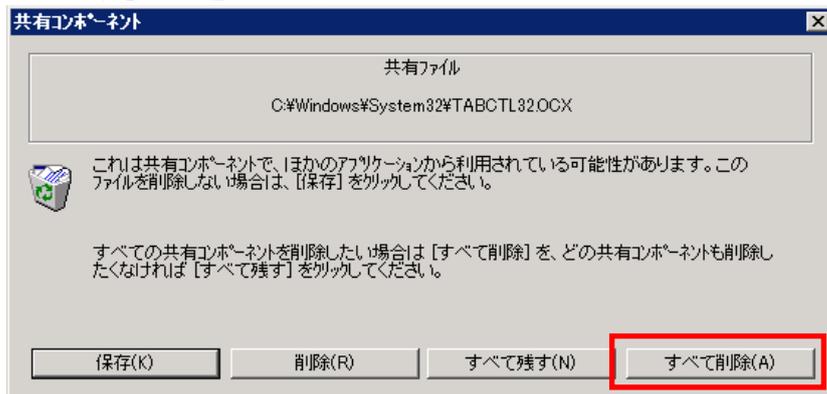
- ③ [プログラムと機能]で[BEMS対応モジュール登録ツール]をダブルクリックします。



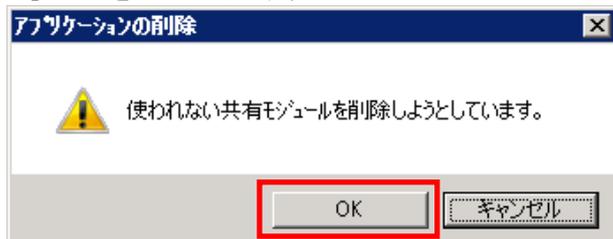
- ④ [はい]ボタンをクリックします。



- ⑤ [すべて削除]ボタンをクリックします。



- ⑥ [OK]ボタンをクリックします。



- ⑦ [OK]ボタンをクリックします。
本ソフトウェアのアンインストールが完了しました。



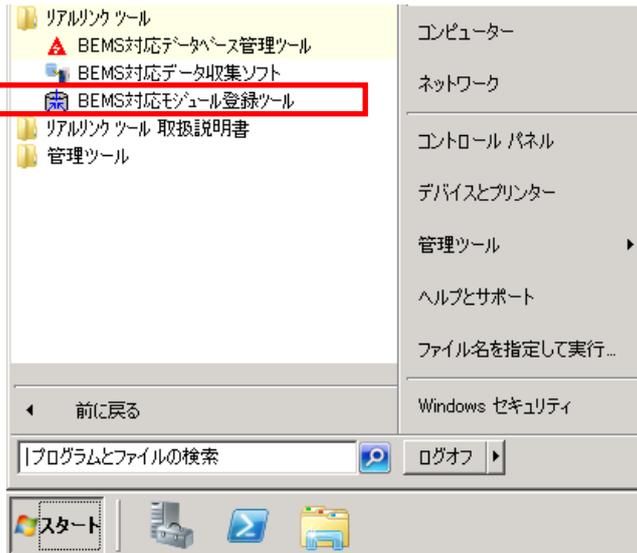
6. 起動と終了

本ソフトウェアの起動、終了、およびバージョンを確認します。

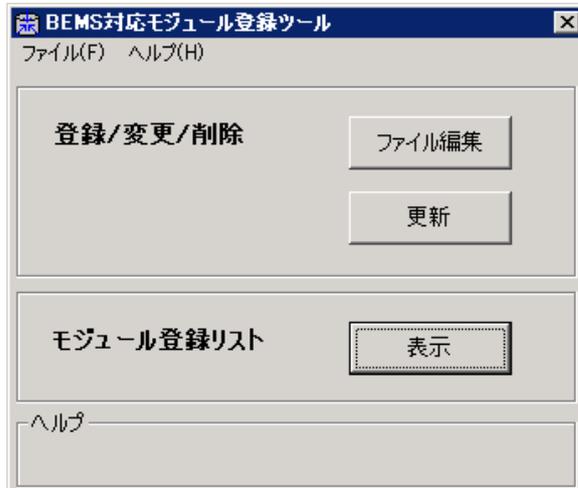
6-1. ソフトウェアの起動

本ソフトウェアを起動します。

- ① 「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」を選択後、「リアルリンク ツール」を選択します。
- ② 「BEMS対応モジュール登録ツール」をクリックします。



- ③ 以下の画面が表示されます。以降、以下の画面をメイン画面と記述します。
※ マウスカーソルを各ボタンの上に合わせると、画面下部のヘルプ欄に機能の概要が表示されます。



画面 6.1

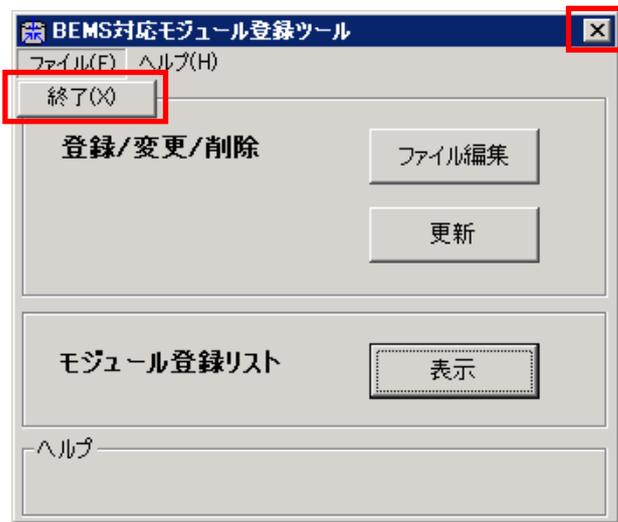
⚠ 注意

BEMS対応データベース管理ツール起動中は、本ソフトウェアを起動できません。
本ソフトウェアを使用する場合は、BEMS対応データベース管理ツールを終了後に本ソフトウェアを起動してください。

6-2. ソフトウェアの終了

本ソフトウェアを終了します。

メイン画面のプルダウンメニューの[ファイル]から[終了]、またはメイン画面右上の[×]ボタンをクリックします。

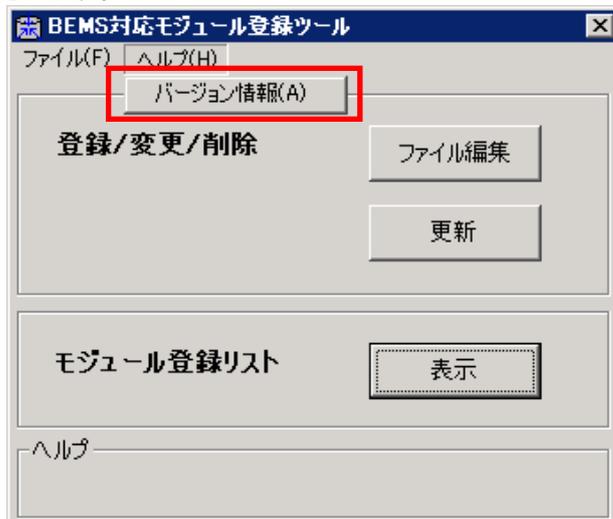


画面 6.2

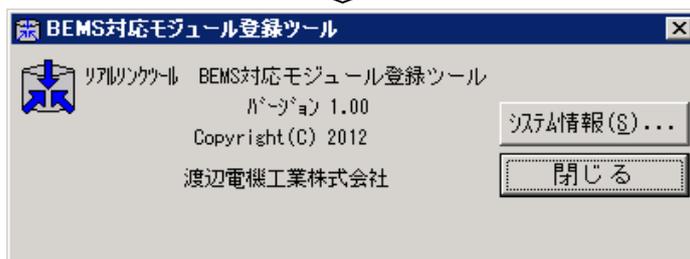
6-3. ソフトウェアバージョンの確認

本ソフトウェアのバージョンを確認します。

メイン画面のプルダウンメニューの[ヘルプ]から、[バージョン情報]を選択すると「バージョン情報」画面が表示されます。



画面 6.3



画面 6.4

確認後、[閉じる]ボタンをクリックしてください。

※ [システム情報(S)...]ボタンをクリックすると、サーバーのシステム情報を確認することができます。

7. 操作方法

ここでは、WTM-DMD6Vの登録情報を登録/変更/削除します。
登録した登録情報をリスト表示します。

7-1. WTM-DMD6Vの登録/変更/削除

7-1-1. WTM-DMD6Vの設定ファイル編集

ここでは、WTM-DMD6Vの設定ファイルをデータベースにオフラインで登録するための準備を行います。

※ WTM-DMD6Vの設定ファイルについては、「BEMS対応デマンドコントローラ取扱説明書 第四章 設定ファイル編」を参照して登録するWTM-DMD6Vの設定ファイルを事前に作成してください。

注意

ファイル名にはモジュール名称など識別しやすい名称を付けることをお勧めします。
また、作成したファイルの保存先をお忘れにならないようご注意ください。

登録/変更/削除の手順は、以下の各項目を参照してください。

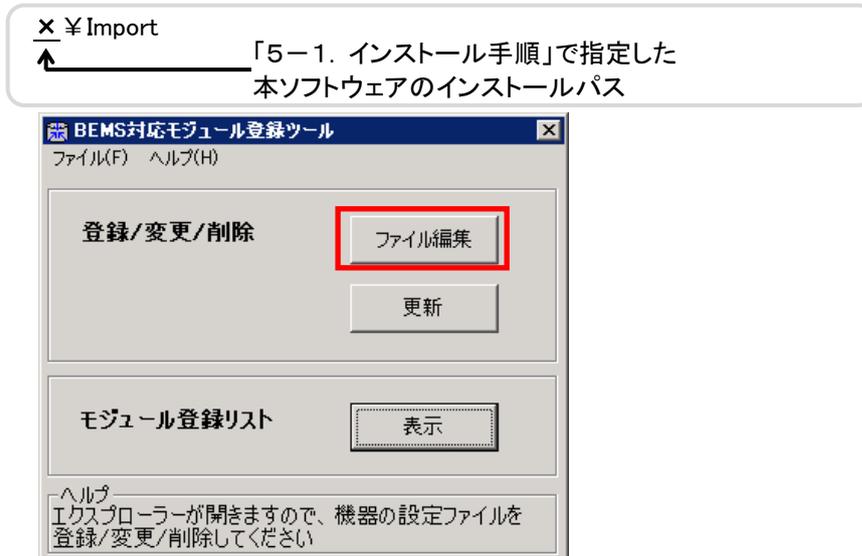
- 1) 「7-1-1-1. 登録情報を新規登録する」
- 2) 「7-1-1-2. 登録情報を変更する」
- 3) 「7-1-1-3. モジュール名称の変更/モジュールの交換をする」
- 4) 「7-1-1-4. 登録情報を削除する」

7-1-1-1. 登録情報を新規登録する

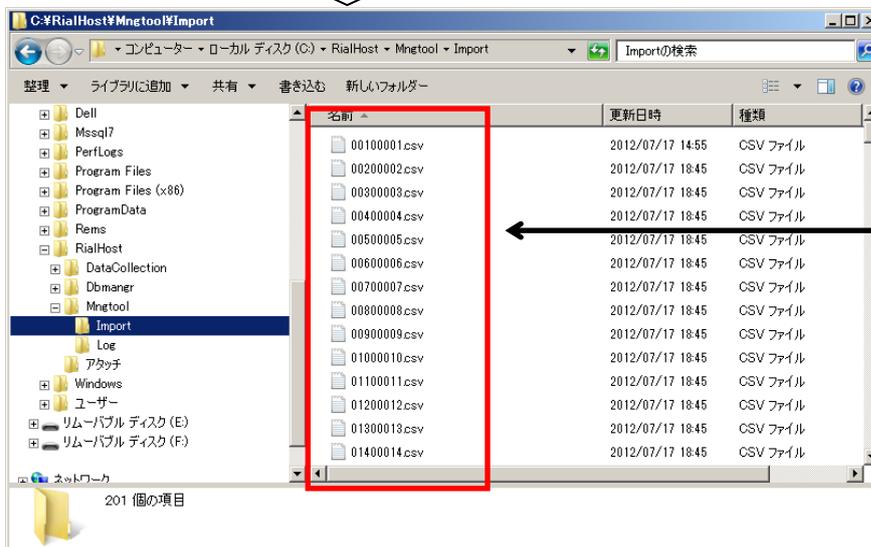
ここでは、WTM-DMD6Vの登録情報を新規登録します。
登録情報を追加するには設定ファイルの作成が必要です。

- ※ 「BEMS対応デマンドコントローラ取扱説明書 第四章 設定ファイル編」を参照し、WTM-DMD6Vの設定ファイルを作成してください。

- ① [ファイル編集]ボタンをクリックすると、設定ファイルが格納される以下のフォルダが開かれます。



画面 7.1



- ② フォルダ内に作成した設定ファイルを配置します。

※ 設定ファイルの作成は「BEMS対応デマンドコントローラ取扱説明書 第四章 設定ファイル編」を参照してください。

⚠ 注意

本ソフトウェアで使用する設定ファイルと各WTM-DMD6Vにアップロードする設定ファイルを一致させないとデータ収集が正常に動作しなくなります。

- ③ 「7-1-2. 登録情報の更新 (WTM-DMD6Vのオフライン登録)」を行います。

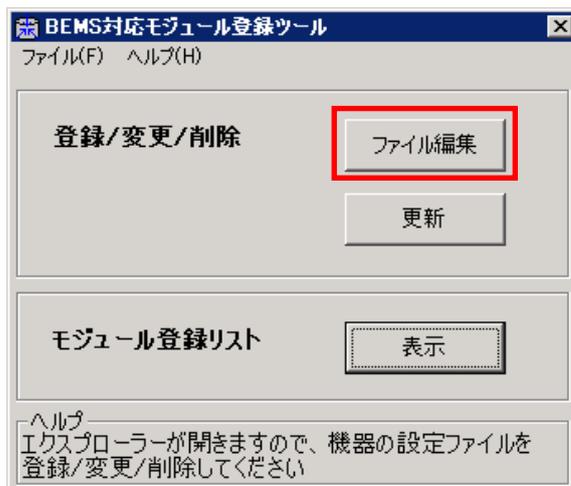
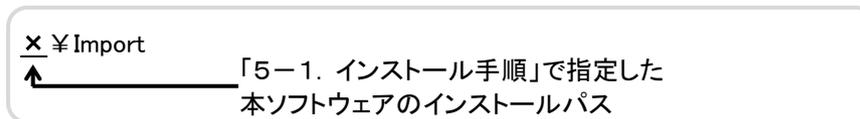
7-1-1-2. 登録情報を変更する

ここでは、WTM-DMD6Vの登録情報を変更します。

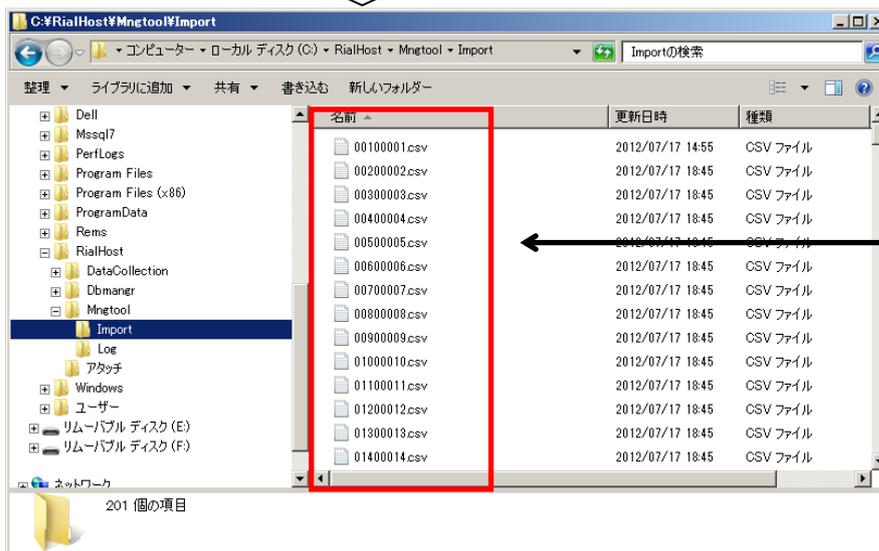
登録情報を変更するには、設定ファイルの変更が必要です。

- ※ 「BEMS対応デマンドコントローラ取扱説明書 第四章 設定ファイル編」を参照し、WTM-DMD6Vの設定ファイルを変更してください。

- ① [ファイル編集]ボタンをクリックすると、設定ファイルが格納される以下のフォルダが開かれます。



画面 7.2



- ② フォルダ内の変更したいWTM-DMD6Vの設定ファイルを編集します。

- ③ 「7-1-2. 登録情報の更新 (WTM-DMD6Vのオフライン登録)」を行い、登録情報を変更します。

7-1-1-3. モジュール名称の変更／モジュールの交換をする

 **注意**

モジュール名称を変更する場合や、故障等により別のWTM-DMD6Vに交換する場合は以下の手順で作業してください。

- ①モジュール名称変更、またはモジュールの交換を行うWTM-DMD6Vの登録情報を削除してください。
※「7-1-1-4. 登録情報を削除する」を参照してください。
- ②モジュール名称を変更した設定ファイル、または交換するWTM-DMD6Vを登録してください。
※「7-1-1-1. 登録情報を新規登録する」を参照してください。
- ③BEMS対応データ収集ソフトにてオンライン登録を行ってください。
※オンライン登録の詳細は「BEMS対応データ収集ソフト取扱説明書 第8章 操作」を参照してください。

7-1-1-4. 登録情報を削除する

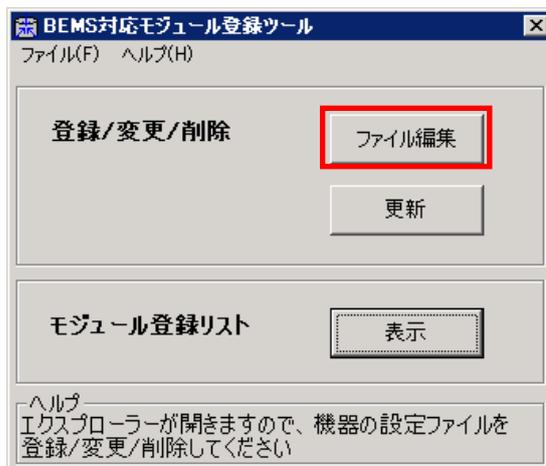
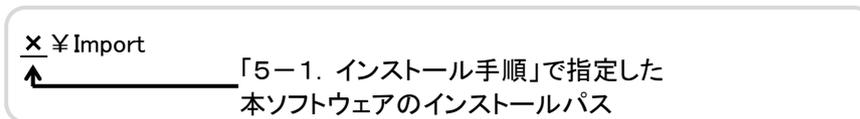
ここでは、WTM-DMD6Vの登録情報を削除します。

登録情報を削除するには、設定ファイルを削除する必要があります。

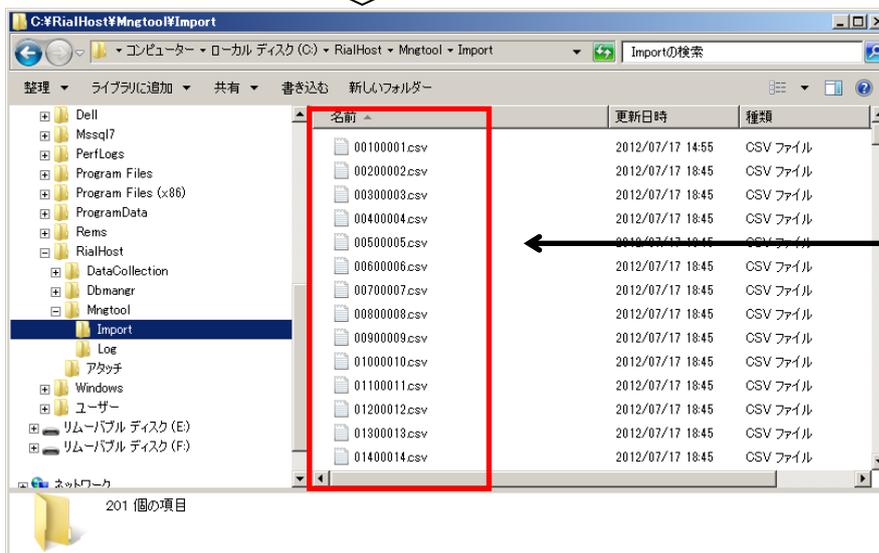
また、モジュール名称の変更やWTM-DMD6Vの交換を行う場合、登録情報の削除が必要です。

※詳細は「7-1-1-3. モジュール名称の変更／モジュールの交換をする」を参照してください。

- ① [ファイル編集]ボタンをクリックすると、設定ファイルが格納される以下のフォルダが開かれます。



画面 7.3



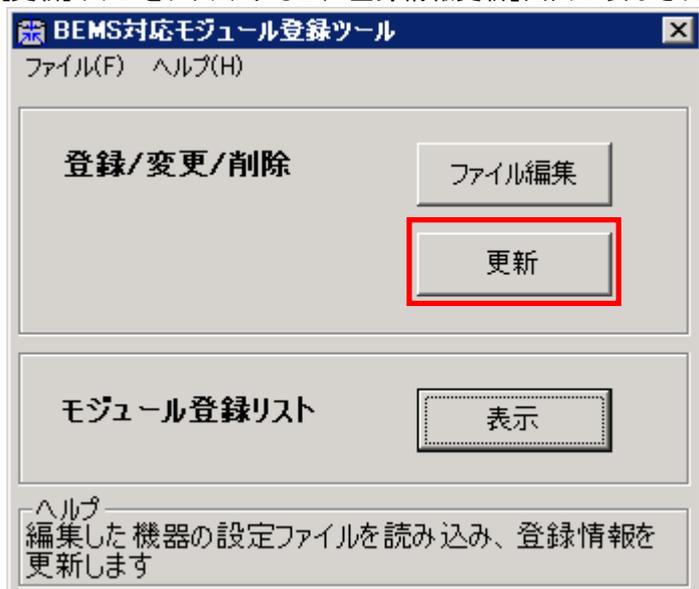
- ② フォルダ内の削除したいWTM-DMD6Vの設定ファイルを削除します。
- ③ 「7-1-2. 登録情報の更新 (WTM-DMD6Vのオフライン登録)」を行い、登録情報を削除します。

7-1-2. 登録情報の更新 (WTM-DMD6Vのオフライン登録)

ここでは、編集した WTM-DMD6V の設定ファイルを読み込み、登録情報を更新します。

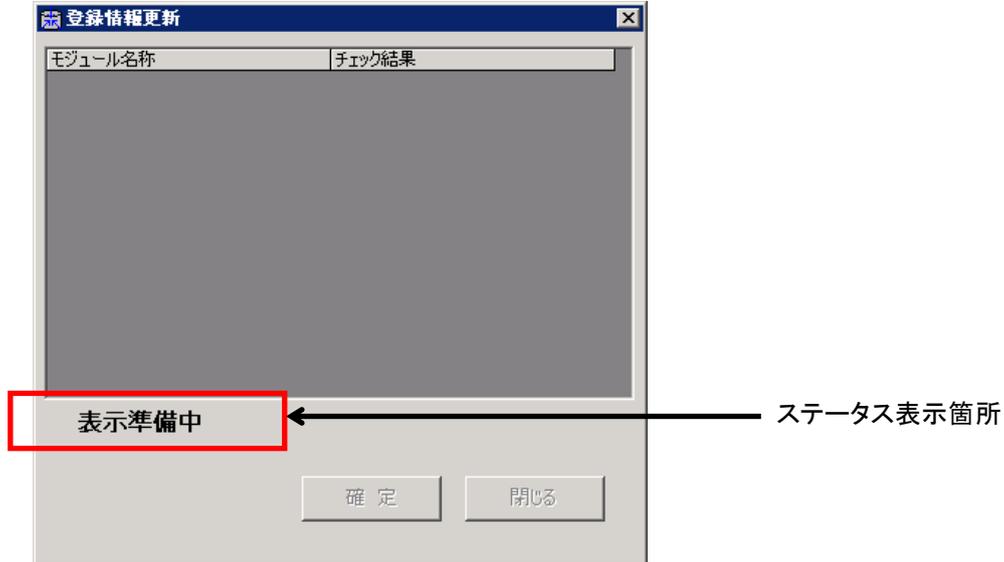
7-1-2-1. 登録情報更新の手順

- ① [更新]ボタンをクリックすると、「登録情報更新」画面が表示されます。



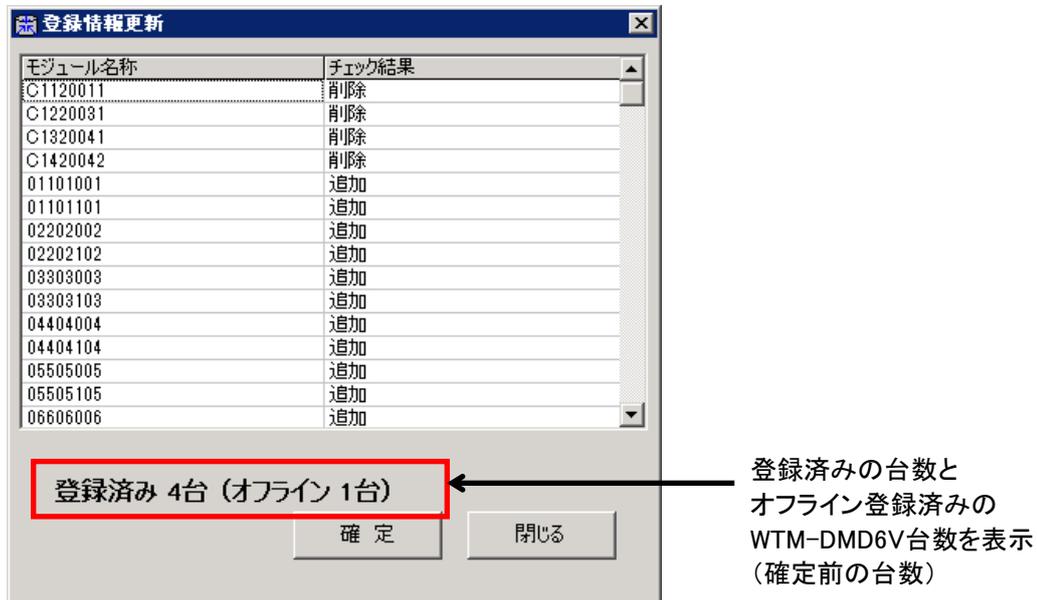
画面 7.4

- ② 「登録情報更新」画面が表示され、更新するWTM-DMD6Vの設定ファイルをチェックし、その結果が表示されます。
- 登録済み、かつ変更がないモジュールはリストに表示されません。
- ※ 全ファイルのチェックが完了するまでステータス表示箇所に[表示準備中]が表示されます。チェックには、登録台数により2～3分かかることがあります。



画面 7.5

↓ 自動で表示



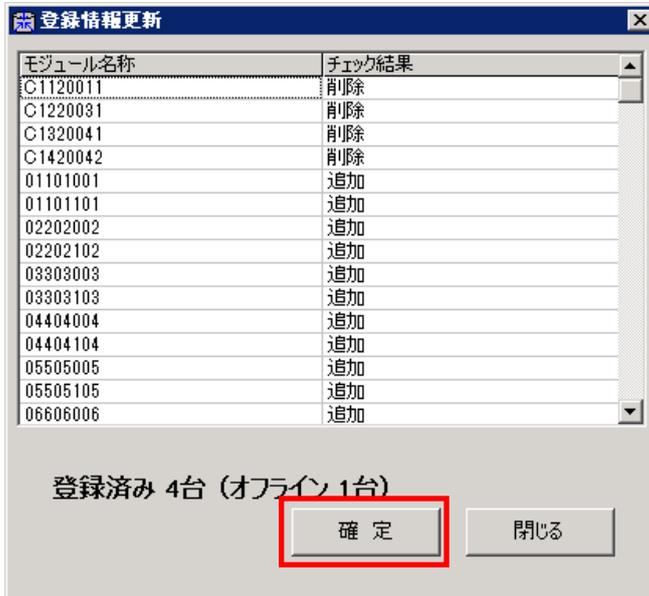
画面 7.6

⚠ 注意

設定ファイルの先頭行が「1,設定ファイル種別」で始まっていない場合、WTM-DMD6Vの設定ファイルとして認識されずリストに表示されません。
その場合は、設定ファイルを再度確認してください。

- ③ チェック結果にエラーが表示された場合は[閉じる]ボタンをクリックして「登録情報更新」画面を終了してください。
エラーが出た設定ファイルを修正し、再度登録情報の更新を行ってください。

- ④ チェック結果でエラーが出ていないことを確認し、[確定]ボタンをクリックします。



画面 7.7



画面 7.8





確定後の登録済みの台数と
オフライン登録済みの台数を
表示

画面 7.9

登録情報の更新が完了すると[登録完了]のステータスが表示され、登録済み台数とオフライン登録済み台数に反映されます。

※ チェック結果にエラーが表示されている場合、[確定]ボタンをクリックすることはできません。

⚠注意

オフライン登録状態の台数について

オフライン登録状態のモジュールは50台以内になるように登録情報の更新を行ってください。

50台を超えて登録したい場合は、オンライン登録を行い、再度登録情報の更新を行うことでオフライン登録してください。

※オンライン登録の詳細は「BEMS対応データ収集ソフト取扱説明書 第8章 操作」を参照してください。

登録情報の更新後、オフライン登録状態のWTM-DMD6VをBEMS対応データ収集ソフトでオンライン登録する必要があります。

※オンライン登録の詳細は「BEMS対応データ収集ソフト取扱説明書 第8章 操作」を参照してください。

⑤ [閉じる]ボタンをクリックすると、「登録情報」画面を終了します。

※ [確定]ボタンをクリックせずに終了した場合はデータベースに反映されません。



画面 7.10

7-1-2-2. チェック結果の種類

表 7.1 チェック結果一覧

チェック結果	内 容
追加	WTM-DMD6Vを新規に登録する場合に表示されます。
変更	登録済みのWTM-DVD6Vの設定が変更されている場合に表示されます。
削除	登録済みのWTM-DMD6Vの設定ファイルが削除されている場合に表示されます。
設定ファイル種別エラー	設定ファイル種別がWTM-DMD6V以外の場合に表示されます。
IPアドレスエラー	WTM-IP、BASSサーバーIPが以下の場合に表示されます。 「.(ピリオド)が3つ以外、かつ「.(ピリオド)で区切られた値が0~255以外の場合。
ポートNoエラー	BASSサーバーポートNoが0~65511以外の場合に表示されます。
モジュール名称エラー	モジュール名称が半角8文字でない、または先頭3文字が「CON」「AUX」「PRN」「NUL」の文字列を使用している、または以下の文字以外を使用している場合に表示されます。 使用可能文字 半角英数および次の記号 & ` - = @ _ { } ~
コメントエラー	コメントが半角40文字(全角20文字)以内でない場合、または以下の記号を使用している場合に表示されます。 使用不可記号 ¥ / : ; * ? " < >
蓄積チャンネル数エラー	蓄積チャンネル数が 16,64,128以外の場合に表示されます。
蓄積間隔エラー	蓄積間隔が5,10,30,60以外の場合に表示されます。
スケール係数エラー	スケール係数が0.0001~9999.9999以外の場合に表示されます。
Slaveアドレスエラー	Slaveアドレスが0~31以外の場合に表示されます。
データアドレスエラー	データアドレスが0000~FFFF(16進数の文字列)以外の場合に表示されます。
重複エラー	同一モジュール名称のファイルが複数存在している場合に表示されます。 ※ アルファベットの大文字・小文字は区別しません。
ファイル構造エラー	ファイルの先頭行(「1,設定ファイル種別,×××」)の「,」の数が2個ではない場合に表示されます。

※ 設定ファイルの詳細は「BEMS対応デマンドコントローラ取扱説明書 第四章 設定ファイル編」を参照してください。

7-1-2-3. ステータスの種類

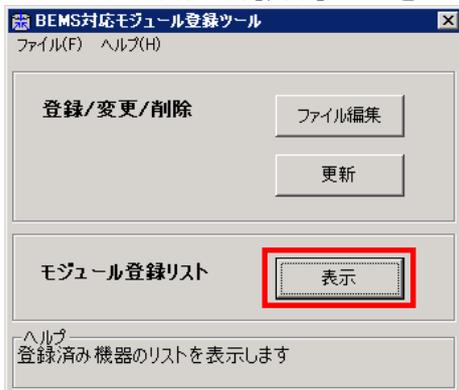
表 7.2 ステータス一覧

ステータス	内 容
表示準備中	更新するモジュールリストの表示準備中に表示されます。
登録中	WTM-DMD6Vの登録/変更/削除中に表示されます。
登録失敗あり	WTM-DMD6Vの登録/変更/削除に失敗した場合に表示されます。
登録完了	WTM-DMD6Vの登録/変更/削除が完了した場合に表示されます。

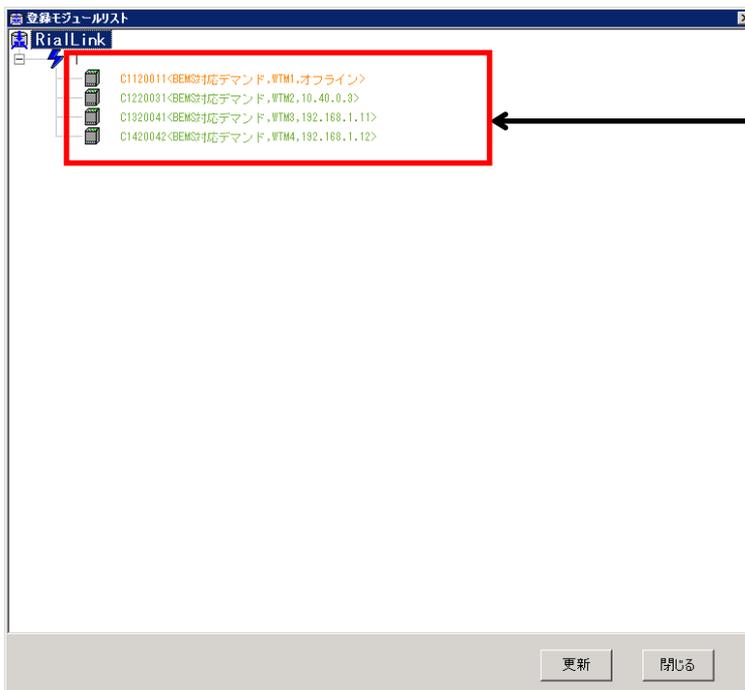
7-2. 登録モジュールリストの表示

データベースに登録されているWTM-DMD6Vのリストが表示されます。

- ① 以下のメイン画面より[表示]ボタンをクリックすると、「登録モジュールリスト」画面が表示されます。



画面 7.11



登録済みのWTM-DMD6Vが表示されます。

画面 7.12

●アイコン

 :ネットワークNo

 : WTMシリーズ

●登録情報フォーマット

モジュール名称< BEMS対応デマンド , コメント , YYYYYY >

↑ オンライン登録済み : WANIPアドレス
オフライン登録状態 : “オフライン”

●登録情報の色

オンライン登録済み : 黄緑色

オフライン登録状態 : 橙色

- ② [更新]ボタンをクリックすると、登録モジュールリストの情報が更新されます。
※ [更新]ボタンをクリックしない場合、登録モジュールリストを表示した時点の情報が表示されます。
- ③ [閉じる]ボタンをクリックすると、「登録モジュールリスト」画面を終了します。

8. 表示メッセージ

本ソフトウェアでポップアップ表示されるメッセージは以下になります。

—アルファベット—

●INIファイルのディレイ時間の設定が違います

→「インストールパス¥NCFT.ini」のファイルでOFFLINE-SETUPの[DelayCnt]を

1～24(デフォルト:2)の範囲で、BEMS対応データ収集ソフトの

[1秒あたりの送信ディレイ台数]の設定に合わせて設定してください。

※詳細は「BEMS対応データ収集ソフト取扱説明書 第8章 操作」を参照してください。

—タ行—

●データベース管理ツールが起動中です

→データベース管理ツールを終了してから本ソフトウェアを起動してください。

●データベースに接続できません

→データベース接続に失敗しました。

以下の手順で操作してください。

1) BEMS対応データベース管理ツールよりSQL Server Expressインストールを再度行ってください。

※ 既にインストール済みの場合は、アンインストール後に再度インストールを行ってください。

2) BEMS対応データベース管理ツールよりデータベース登録を行ってください。

3) SQL Server Expressを起動してください。

※ 詳細は「BEMS対応データベース管理ツール取扱説明書」を参照してください。

●登録処理を行っていませんがよろしいですか？

→「登録情報更新」画面で[確定]ボタンをクリックせずに[閉じる]ボタンをクリックした時に、表示されます。

登録情報を更新せずに画面を閉じる場合は[OK]ボタンをクリックしてください。

—ハ行—

●ファイル読み込みエラー

→登録情報の更新時に、設定ファイルを開いている場合に表示されます。

設定ファイルを閉じてから、再度登録情報の更新を行ってください。

ご注意 本ソフトウェアおよび本取扱説明書の内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

watanabe

渡辺電機工業株式会社

本 社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6丁目16番19号

TEL 03-3400-6141(代) FAX 03-3409-3156

<http://www.watanabe-electric.co.jp>

IM-0594-00 2013年1月23日